

別紙2 岩泉町長様からの御意見

令和3年度小本川水系流域治水協議会の書面開催にあたり、私からの発言を書面にて提出させていただきます。

さて、小本川は、大災害からの復旧・復興のために大規模な河川改修工事が執り行われておりますことに先ずもって、国及び県の関係機関の皆様へ感謝申し上げます。そして、本工事のために、土地の提供や宅地のかさ上げにご協力いただいた流域の住民の方々にも改めて感謝申し上げたいと思います。

ハード整備は、令和6年度で一旦の区切りを見るところですが、ソフト事業は継続的に流域にお住まいの住民・企業・団体の皆様方とともに進めていかなければならないと考えているところであります。

町では、まちづくり計画に、ひとりの命も失わないとの決意のもと、「安心安全なまちづくり」を掲げております。その中で、本年度から幹事に「小本地区自主防災協議会」及び「岩泉町防災士連絡協議会」から参画をいただきましたことは、まさに、本協議会が取り組もうとしている地域一体となって命を守っていく意識と行動づくりに繋がっていくものと考え、町としてもより一層の地域一体型の総働による防災・減災事業を進めていく決意であります。

また、小本川流域は大規模な森林に支えられていることから、本年度から参画いただいた森林整備関係部局の皆様と足並みを揃えた森林整備・保全の取り組みも重点として進めて参りたいと考えております。

最後となりますが、町としてもできることを着実に進めて参りたいと考えておりますが、治水、砂防、治山及び森林整備・保全などにつきましては、国及び県の事業に頼らざるを得ない状況でありますことから、本協議会に結集している皆様へ、より一層のご支援とご協力をお願いいたしまして、私からの発言といたします。

引き続きよろしくお願いたします。